

第16回TBアーカイブ委員会報告

結核予防会顧問

TBアーカイブ委員会委員長 石川 信克

去る令和5年10月5日、本年度のTBアーカイブ委員会（第16回）がオンラインで開催され、内部委員11名、外部委員4名が参加した。主な議題は、「雑誌『療養生』のデジタル化とその利用に関して」であった。

A. 「療養生」のデジタル化について

「療養生」については、本誌413号（2023年11月）に、青木純一氏が詳しく述べられているが、歴史的に貴重な療養する患者の情報雑誌であり、そのデジタル化および公開の意義は大きいことは委員会として確認された。その保管や利用に関するとりきめとして、以下が確認された。

1. デジタルデータの保管は、バックアップデータを2セット作成して、本部と結核研究所図書室とで1セットずつ保管する。
2. デジタルデータは、原則として館内で閲覧、利用者が希望する場合にはプリントアウトで提供する。デジタルデータのUSB、DVD等へのコピーの提供を行わない。
3. 研究上の重要性や利便性から、申請によりTBアーカイブ委員会において承認された場合に限り、デジタルデータの提供を認める。提供するにあたって、利用者において有償無償を問わず、再複写、頒布、第三者への譲渡をしないことを条件とし、複写費用としてデジタルデータ複製費用を請求できる。
4. 利用規則等については、利便性や利用状況の実績、著作権等の法的検討に基づき、数年ごとに委員会で改定する。
5. 国立国会図書館や清瀬市郷土資料館へのデータ提供に関しても検討する。
6. 窓口としては、結核研究所図書室とする。

B. 本委員会のメンバーである松田信孝委員（北里研究所）からの報告：

1. 結核予防会の前身であった結核予防協会や日本結核病学会の創始者で、我が国の結核予防はじめ感染

症予防のパイオニアであった北里柴三郎先生の生誕地、熊本県阿蘇郡小国町には、先生の寄贈による図書館、一般財団法人「学びやの里北里柴三郎記念館」があり、先生のひ孫の北里英郎先生が館長を務めている。一方、学校法人北里研究所は別組織であるが、共同で同記念館のリニューアルする事業を行っている。

2. 学校法人北里研究所は、従来付属施設として「北里柴三郎記念室」を維持してきたが、2023年10月20日より名称が変更され、「北里柴三郎記念博物館」としてとして拡充されることになった。

3. 「北里柴三郎博士特別展」が、本年11月5日より2024年2月29日まで、北里研究所創立110周年、北里大学創立60周年記念事業として、北里柴三郎記念博物館にて開催される。テーマには、感染症の撲滅に向けた実践者、北里柴三郎は「予防医学」を提唱、治療医学と予防医学は人類の福祉を増進する車の両輪である、とある。入場無料。東京都港区白金5-9-1
URL : <https://www.kitasato.ac.jp/kinen-shitsu/>

北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念
北里柴三郎博士特別展 第2弾

感染症の撲滅に向けた実践
北里柴三郎「予防医学」を提唱
治療医学と予防医学は人類の福祉を増進する車の両輪である

◆感染症の撲滅実践
◆北里柴三郎博士特別展

北里柴三郎記念博物館 (旧北里柴三郎記念館)

2023 **11/5** ▶ 2024 **2/29**

10:00~17:00 開館
入場無料

北里大学研究センター
〒105-8501 東京都港区白金5-9-1
TEL: 03-3791-1111 FAX: 03-3791-2222



北里柴三郎博士特別展チラシ
右のQRコードから北里柴三郎記念博物館
HPにアクセスできる